

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	16HP1003	事業期間	平成 28 年度～平成 32 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
社会医学分野におけるアジアからの国際情報発信力強化戦略		一般社団法人 日本衛生学会	理事長 大槻 剛巳
学術刊行物の名称			(略称)
Environmental Health and Preventive Medicine			EHPM

【平成 30 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>論文投稿数やアクセス数が増加していることから、アジア初の社会医学系オープンアクセスジャーナルとして、着実に目標が達成されつつあると考えられる。スピンオフ eBook シリーズの刊行継続も期待できる。助成期間終了後の体制も、正会員数の増加や資金手当など種々の検討がなされている点は評価できる。</p> <p>一方、インパクトファクターの数値目標や論文投稿数の維持には更なる取組が必要である。とりわけ論文掲載料の負担金の増加は若手研究者には重荷となることが懸念される。これらのリスクを踏まえ、助成期間終了後の体制に十全な対策が講じられることを期待したい。</p>	